

永野爲武 ながの たけり 俳人。明治四十二年十一月十一日愛媛縣松山生乳（一九〇〇）。本名爲武。筆名小名木滋。俳人野間史柳は祖父に當る。昭和八年東北帝國大學理學部卒。動物生理學專攻、理學博士、東北大學教授。十一年飯田蛇笏主宰「雲母」個人賞受賞、十四年台田亞浪の門に入り、その主宰誌「石楠」の幹部となる。二十七年「俳句饗宴」創刊主宰。宮城縣俳句協會會長。

譯書に、ラッセル著「動物の行動・環境」（石田周二共譯、昭和十一年四月十五日岩波書店）、B・b・メイル著「細菌物語」（谷田專治共譯、昭和十五年二月五日青木書店「文化叢書」）等。著書に「生物學辭典」（柘植秀臣・谷田專治共著、昭和十五年四月二十八日富山房）、「オートマス・ハツクスリ小傳」（昭和二十一年二月五日生活社「日本叢書」）、「科學の衣裳」（昭和二十二年二月二十五日富山房）、「日本文藝の鑑賞・小説篇」（合著・日本文藝研究會編輯、昭和二十五年十一月三日宮城・東洋書房）、「コモノオゾマナノ視覚の世界」（昭和四十一年七月二十日新潮社）等。

